

2022.5.4

## 5/21 第 33 回働学研（博論・本づくり）研究会のお知らせ

十名 直喜

GW の真只中、如何お過ごしでしょうか。

昨春は、GW 明けに拙宅をリフォームしました。古い（熟）の身支度と申しましょうか。  
今春は、帰省の子供・孫たちで賑わいを見せています。

5 月例会は、発表件数が少ないかもと案じていましたが、おかげさまで揃いました。

5/21 第 33 回働学研プログラムができましたので、お知らせします。

2 部編成で、6 本の発表が予定されています。今年のカラーは、本づくり & 出版！ そのような様相を呈しています。編集・出版に向けての、あるいは出版後の思いや課題、そして論文づくりの新たな風も、含まれています。

第 1 部 地域、地方、社会の文化的・民主的創造

第 2 部 変革期における科学・技術・品質管理のあり方

ブレインストーミングの要領で、ワイガヤで、膨らます機会にさせていただければと思います

### 5/21 第 33 回働学研プログラム

（司会：太田・濱・十名、画面：澤 & 発表・議論各 15 分：計 30 分/本）

#### 第 1 部 地域、地方、社会の文化的・民主的創造（司会：太田）

杉山友城：「杉山編[2022]『新しい<地方>を創る—未来への戦略』晃洋書房」

古橋敬一：「地域創造の理論と実践（再論）」

富澤公子：「長寿社会をけん引する「学びあい育ちあうアクティブシニア」の消費行動と持続可能な幸福社会への道」

#### 第 2 部 変革期における科学・技術・品質管理・人材戦略のあり方（司会：濱）

澤 稜介：「近代の科学と技術のあり方を考える—M.バーマン『デカルトからベイトソンへ』をふまえて」

堀 隆一：「QC サークル活動とその他の改善活動」（堀[2021]『日本の勤労・勤勉思想の系譜』）

太田信義：「技術変革を迎える自動車産業での人材戦略 —アウトソーシング活用の視点から」

ご参加のお知らせをいただいているのは、下記 10 名です。

（敬称略：太田、金井、澤、杉山、富澤、中谷、濱、古橋、堀、十名）

皆様のご参加、お待ちしております。十名 (tona@iris.eonet.ne.jp) までお知らせください。

発表者は、5 月 15 日（日）までに発表資料を十名宛にお送りください。

6/19 第 34 回働学研の発表申し込みも受け付けています。すでに 3 本（小林、堀、中野）いただいています。くれぐれもお大事に。